

平成29年第33週 県中保健福祉事務所感染症レター


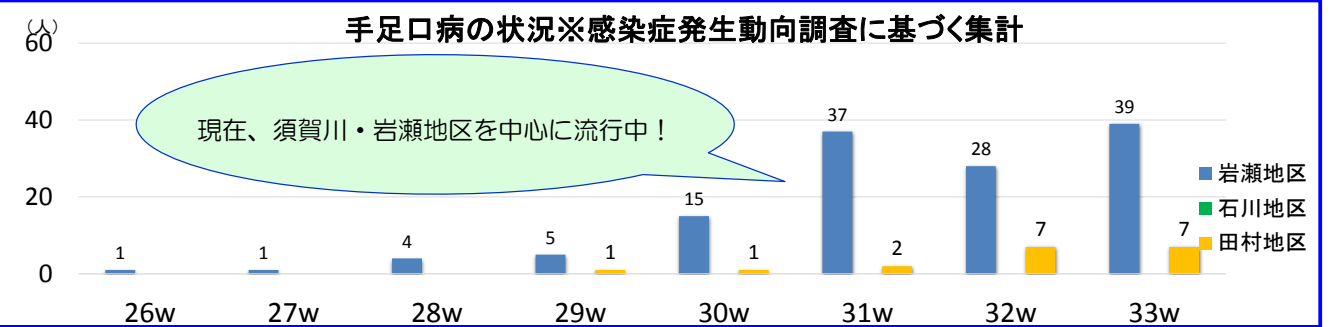
	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第33週	第32週	第33週		第32週		第33週		第32週		第33週		第32週		第33週		第32週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	6	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	44	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
感染性胃腸炎	55	72	8	0	31	0	7	0	29	0	0	0	0	1	0	2	0	
水痘	17	19	3	1	3	0	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	
手足口病	423	315	46	9	35	9	39	0	28	0	0	9	0	8	7	0	7	1
伝染性紅斑	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発疹	11	28	2	0	4	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	57	67	7	1	1	1	6	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	
流行性耳下腺炎	25	27	9	2	16	6	2	0	0	0	0	1	0	0	7	1	16	6
RSウイルス感染症	174	171	13	1	20	0	9	1	14	0	0	0	0	4	0	6	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況
〈県中地域でRSウイルス感染症の流行が続いています〉
 RSウイルス感染症の症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。しかしながら、初めて感染発症した場合は重症化しやすいといわれており、特に乳児早期（生後数週間～数か月間）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。
 RSウイルス感染症の感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児とされています。そのため、0歳児と1歳児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状がある場合、飛沫感染対策としてマスクを着用することが大切です。また、接触感染対策としては、子ども達が日常的に触れるおもちゃ、手すりなどをこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹸による手洗いとアルコール製剤による手指衛生の励行を行うことが重要となります。

手足口病の流行が続いています！

福島県の手足口病は、第32週に1地点あたりの患者報告数が警報レベルとなる5.0を超えました。今後も患者数が増えることが予想されますので、注意が必要です！

予防法

- 一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石鹸で十分に行ってください。また、タオルの共有はしてはいけません。
- 手足口病は、症状が見られなくなった後も、2~4週間にわたり便などからウイルスが排泄されるため、日頃からのしっかりと手洗いが重要です。

参考：厚生労働省HP <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>
 国立感染症研究所HP <http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>